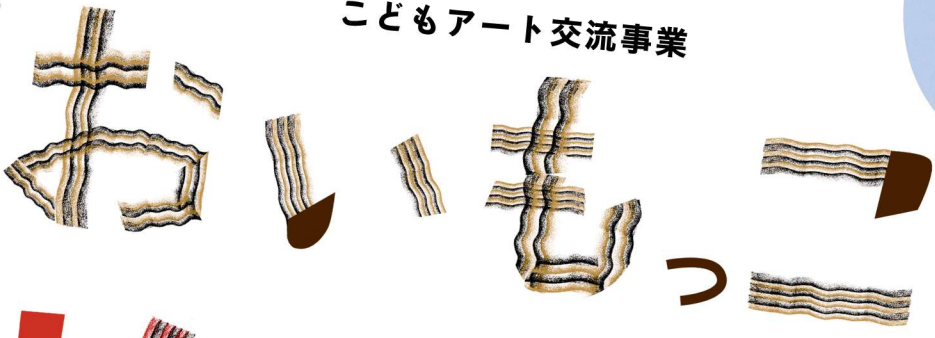
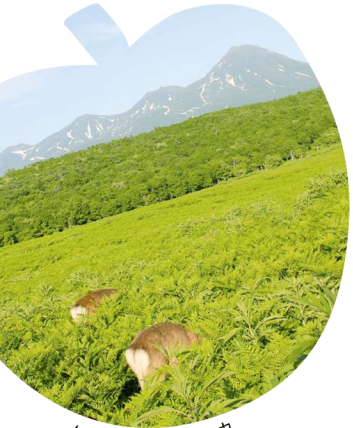


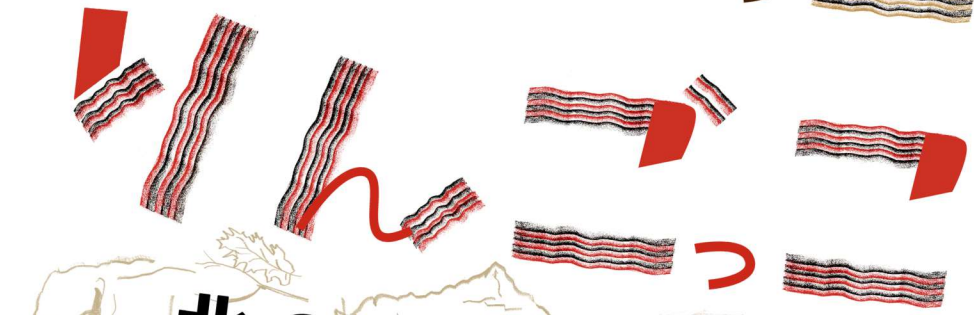
こどもアート交流事業



オオワシ



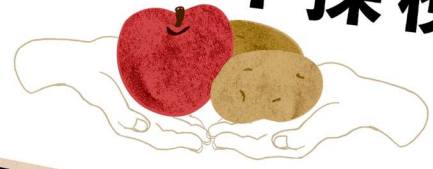
知床連山とエゾシカ



北のアート探検隊

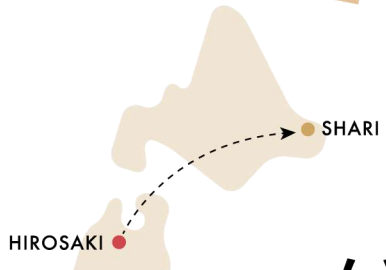


ヒグマ



植物のすがた染め

オホーツク海



さあ！^{しれとこ}知床の大自然に飛びこんで
アートを探そう見つけよう！



Illustration by Mai Kuroki, May Kawamura



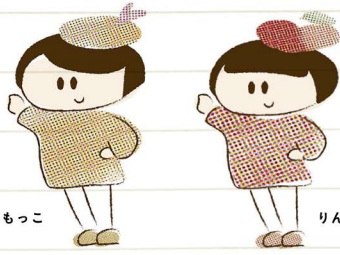
ハマナス

斜里岳とジャガイモ畑



主催 | 友好都市等交流事業実行委員会 (弘前市文化振興課内)
企画・運営 | NPO harappa 協力 | 葦の芸術原野祭実行委員会 (斜里)

おいもっこりんごっこ 北のアート探検隊とは？



おいもっこ

りんごっこ

おいもっこ (=斜里っ子) と、りんごっこ (=弘前っ子)、北国に住む子どもたち同士、おたがいのまちのアートを探る探検の旅です。望遠鏡とルーペを持って、地域の案内人たちといっしょに知床の大自然に飛び込むと……森にも海にも、ドキドキとワクワクがいっぱい。目の前の自然にアートを探して！感じて！！見つけて!!! 最後は自分たちの手で作品をつくりあげましょう。

※小学4～6年生対象

しれとこ

知床ってどんなところ？

斜里町のある知床半島は、日本を代表する国立公園のひとつです。半島の中心をつらぬく山々から、冬に流氷がくるオホーツク海まで、実に多様な自然環境がそろっており「日本最後の秘境」ともいわれています。

流氷に運ばれた栄養分がクジラやイルカ、アザラシなど海獣類をはじめさまざまな海の生き物をはぐくみ、サケやマスは川をさかのぼってヒグマやオジロワシなど陸の生き物の栄養となります。そんなふう知床は、陸と海から豊かな生態系（生物と自然環境のまとまりのこと）が生まれ、貴重な動植物が多く生息していることから、2005年に世界自然遺産に登録されました。



また、今から200年ほど前の江戸時代に北方警備のため斜里に派遣された津軽藩(弘前藩)士が飢えと寒さで亡くなる事件があり、斜里町民が慰霊を続けてきました。これが縁で、1983年に弘前と友好都市盟約を結び、弘前から斜里へねぶたが伝授されています。

こんな体験が待っているよ！ 8月6日(火)～9日(金)

※おもな予定プログラムの一部です。
詳細は裏表紙をお読みください。



世界自然遺産を散策

知床の山々からの地下水が高さ100メートルの断崖からしみ出して海へ流れ落ちる「フレベの滝」まで、森、草原、海岸など変化に富んだルートで植物を観察しながら散策します。



草花さがし

植物研究者・内田暁友さんのガイドで、斜里町内の自然を散策し、作品制作でつかう植物を探します。自然の中のアートを発見しながら、いろいろな植物について学びます。



共同で作品制作

集めた植物を、布に巻いて染め上げる「バンドルダイ」（植物のすがた染め）で、斜里の子どもたちと合同作品をつくりましょう。その土地でしか見つけられない色彩を楽しんで！



紙芝居で知床を学ぶ

さまざまな分野の作家が暮らしているのも斜里の特徴のひとつ。絵本作家のあかしのぶこさん作の大型紙芝居で、人間と野生動物とのつき合い方について学びます。



声と音楽で日記発表

皆さんが書いた知床日記を、アナウンサー・伊藤ゆりかさんが朗読し、音楽家・AIRDAさんが即興で音楽を奏でる会を開きます。知床の日々がより深く思い出に残ること間違いなし。



コラボッキング

斜里の特産品「じゃがいも」と弘前の特産品「りんご」を使ってカレーライスをつくりましょう！お互いの特産品を紹介し合って、より交流が深められる時間です。

りんごっ

の皆さん、



わたしたちが
お待ちしております！

川村 善一 ^{きいち} 写真家



僕は、
知床の人々や動物たちが
暮らす自然に魅了された写真家
です。皆さんの目には、どんなふう
に知床が映るでしょうか。カメラをも
って、一緒に探検しましょう！大切な思
い出になるよう僕もたくさん写真
を撮りたいと思います。よろしくね！

川村 秀佳 ^{ひし} 美術家



私は、
美術の学校を卒業後、斜
里町に引っ越してきました。芸術
祭を運営したり、デザインのお仕事を
したり、刺しゅうや染めものなど、布
を使う作品をつくっています。皆さん
とお会いできることを楽しみに
しています！

中山 よしこ ^{よしこ} ライター



私は、
斜里で生まれ育ち、斜
里に関する話を文章にしたり、
仲間と芸術祭を開いたり、この地
域の魅力を発信する活動をしていま
す。弘前と斜里がより仲良くなれる
ような企画を皆で準備していま
すよ！お楽しみに。

内田 暁友 ^{あきとも} 植物研究者



斜里の
野生植物をずっと調べてい
ます。高山から海岸まで植物の生え
ている色んなところを歩いてきました。
弘前は日本の中では北国、でも斜里から
みるとけっこう南国。皆さんが斜里を
歩くところのように感じるのか
楽しみです。



僕は、
リズムがある音楽ではな
く「その場の雰囲気にあった邪
魔にならない音」を目指して音楽活
動をしています。今回は皆さん書い
た文書を伊藤さんが読み、僕が音楽
をつける朗読会を開きます。



エアダ
AIRDA ^{あやた} 音楽家



伊藤 ゆりか ^{ゆりか} フリーアナウンサー



私は、ア
ナウンサーの役割の一つに
「だれかの想いを、知らないだれか
に声でとどける」というものがある
と思っています。皆さんが斜里で感じた想
いを私が声にして、あなた以外のだれ
かの心にとどけます。もちろん、
あなたの心にも！

あかしのぶこ ^{あかしのぶこ} 絵本作家



動物
の絵本が描きたくて旅
行で知床にやってきたけど、まだまだ見
たい、もっと知りたいと過ごすうちにそのま
ま住むことになり早20年以上…今はにゃんこ
とわんことだんなさんと知床に生息中
です。皆さんと楽しい時間作れたら
いいな！





「おもっこ・りんごっこ 北のアート探検隊」は、弘前市・斜里町が友好都市盟約40周年を迎えたことを機に、両市町の子どもたちの交流の場を設け、お互いの地域の中にあるアートの魅力を伝えるとともに、さらなる友好を深めるプロジェクトです。

知床世界自然遺産や斜里町市街地の豊かな自然環境を活かして「目の前の自然の中に、アートを探す/見つける/つくる」をテーマに、斜里と弘前の子どもたちで探検隊を結成し、地域のアーティストや有識者のサポートのもと新たな交流のシンボルとなる作品を制作します。

開催要項

- ①募集説明会
5月25日(土)10:00
弘前文化センター・第1会議室
- ②事前交流会
7月13日(土)10:00
弘前れんが倉庫美術館・スタジオB
- ③交流・作品制作(@斜里町)
8月6日(火)～9日(金)
- ④成果展(作品発表)
【斜里】9月頃 葦の芸術原野祭にて展示予定
【弘前】10月23日(水)～11月4日(月・祝)
弘前れんが倉庫美術館・市民ギャラリー

旅行日程

- 8月6日(火) 弘前市立観光館集合、
(青森空港→新千歳空港→女満別空港)
顔合わせ・夕食会
- 8月7日(水) 知床自然センター
(フレベの滝散策・映画鑑賞)、
斜里町立知床博物館・
姉妹町友好都市交流記念館見学、
コラボクッキング(カレーづくり)
- 8月8日(木) 海岸散策(草花さがし)、共同作品制作、
レクリエーション
- 8月9日(金) 発表会、オホーツク流水館見学、
(女満別空港→新千歳空港→青森空港)、
弘前市立観光館解散

※旅行会社：弘南観光
※詳しい旅行日程はharappaのHPをご確認ください。

お問い合わせ先

事業について…友好都市等交流事業実行委員会
弘前市文化振興課内 ☎0172-40-7015
実施内容について…NPO harappa
☎0172-31-0195
✉post@harappa-h.org

募集要項

- 対象 市内に居住しているまたは市内に通学している
小学4～6年生
- 定員 10名
※応募者多数の場合は抽選により参加者を決定。
- 参加費：3万円 ※交通宿泊および食事代含む
- 応募〆切：6月2日(日)
- 詳細・応募方法：NPO harappaのHPにて
<http://harappa-h.org>



●NPO harappa(企画・運営)

弘前市吉野町の煉瓦倉庫で開かれた奈良美智展をきっかけに2003年に設立。人工的に作られた遊園地ではなく、「原っぱ」において、自由に遊び、行動し、思いっきりアートの世界に浸れるような体験を広く市民に提供できるように活動中です。



●葦の芸術原野祭(協力)

2021年から知床/斜里町内外の有志表現者により始まった芸術祭。斜里町旧役場庁舎(旧図書館)を舞台に、参加型プロジェクトや音と身体表現によるパフォーマンス、作品展示などで地域文化の再発見と新たな価値の創出を目指すアートプロジェクトです。

